

SEEDs取組事例：トイレの消費電力削減ナッジ

【趣旨】

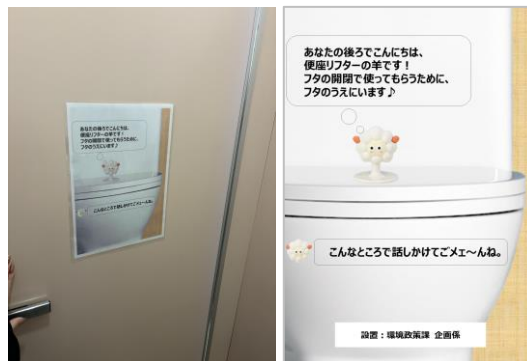
温水洗浄便座の蓋を閉める省エネ行動を促進するため、イオンモール堺北花田と連携して、モール内の来店者用トイレ及び従業員用トイレでナッジを活用した実験を行った。

【課題（ボトルネック）】

・便座の蓋を閉める必要性を感じていない、蓋を閉める意識がない

【概要】

- 対象 イオンモール堺北花田のトイレ利用者
- 期間 2025年1月24日～3月21日
- 内容
 - ①羊の形の便座リフター（取っ手）を蓋に設置
 - ②便座から見える位置にポスターを掲示



【活用したナッジ】

- ①便座リフターを思わず触れたくなる形に(Attractive)
- ②ポスターに遊び心のあるメッセージを掲載(Fun)

【結果及び考察】

・①②のナッジ介入により、トイレ1基1週間あたりの消費電力を平均0.37kWh削減させる効果（13.3%ptの節電効果）があることがわかった。
 ・温水洗浄便座を設置している施設であれば安価に導入することができるため、商業施設やオフィス、学校等様々な場所での展開が可能と考えられる。

群	トイレ1基1週間あたりの平均消費電力		介入群-対照群間の消費電力の差	介入群-対照群間の消費電力割合の差
	介入前	介入後		
介入群	2.63kWh	2.44kWh	-0.37kWh*	-13.3%pt
対象群	2.93kWh	3.11kWh		

※回帰分析により統計的有意性を検証

*：5%有意